

長野県建設部長へ要望書を提出しました。

令和7年2月4日

一般社団法人長野県砂利砕石業協会では、長野県砕石工業組合と合同で、長野県庁の新田恭士建設部長へ公共事業の促進、県内産骨材の利用促進、県発注工事における適正価格の確保や実勢単価への早期価格転嫁等について要望書を提出しました。

新田建設部長との懇談では、「来年度が防災減災5か年事業の最終年となり、次期計画では総額15兆円を上回る規模となる見込み。県の建設部予算は過去13年間で650億円程度であったが、現在は1200億円と大幅に増加してきている。今後、県は緊急輸送路の確保に重点的に取り組み、災害時では、道路の啓開のため骨材団体との連携が重要である。」と力強い回答をいただきました。



要望会に引き続き、県庁の関係課との意見交換会を開催しました。県からは、技術管理室、河川課、リニア整備推進局、森林づくり推進課から出席をいただきました。